

第14回 かながわ 子ども・子育て支援大賞



表彰候補を募集します！

県では、事業者や個人・団体等が取り組む子ども・子育て支援活動のモデルとなる活動に対して、毎年、かながわ子ども・子育て支援大賞として表彰しています。皆様が現在取り組まれている活動、あるいは、ご存知の素晴らしい活動について、是非ご応募ください。

表彰の対象と種類

表彰の種類	対象	件数	副賞
① 大賞	子ども・子育て支援活動のモデルとなる実践的な活動で、地域の子どもや子育て家庭に対する貢献度が高いと認められるもの	1件	20万円/件
② 奨励賞 <small>事業者部門 個人・団体部門</small>		各部門 数件	10万円/件
③ 草の根賞	地域に密着した活動により特にその実績が著しいと認められるもの	数件	4万円/件
④ 特別賞	複数の団体の連携・協働により特にその効果・実績が著しいと認められる活動及びネットワーク	1件	15万円/件

※ 県内において、原則として令和2年4月1日現在で2年以上継続して表彰の対象となる活動に取り組んでいることが必要です。

※ ①～③は知事表彰、④は知事と神奈川県子ども・子育て支援推進協議会会長の連名表彰です。

応募方法

所定の応募（推薦）書に必要事項を記載のうえ、郵送してください。

▶ 郵送先

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課

▶ 応募書やこれまでの受賞団体については、次のアドレスをご覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/shientaisyou.html>

かながわ 子ども・子育て支援 検索



応募締切

令和2年11月10日（火）※ 当日消印有効

問合せ先

神奈川県福祉子どもみらい局 子どもみらい部 次世代育成課

TEL 045-210-4666 FAX 045-210-8956



神奈川県 PR キャラクター
かながわキンタロー

神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部次世代育成課

第13回 かながわ子ども・子育て支援大賞等表彰受賞団体のご紹介

大賞 国際子育てひろば「コアラ」

0～3歳までの子育て中の日本人・外国人親子を対象とし、子育て中のストレスをためない、社会から孤立させないために地域の情報交換、国際交流や理解を深める場「コアラ」をつくり、国籍を問わず親子で交流できる場を提供している。



奨励賞 一般社団法人 sukasuka-ippo

横須賀市療育相談センターにある障害児が通う幼稚園「ひまわり園」の保護者をきっかけに生まれた、障害児の親のグループ。障害の有無にかかわらず通うことのできるインクルーシブ学童、お子さんを一時預かりできるインクルーシブ託児所の運営を行う。



奨励賞 NPO 法人 ひだまりの森

子育て期の相談（親支援）をすることが子どもの健全な成長に繋がると考え、子育てのことだけではなく親自身の話もできる敷居の低い相談を実施し、親子の孤立・虐待を未然に防ぎ、子どもの健全育成を目的とした活動をしている。



奨励賞 ASOBI 隊

「長期休暇中の子ども達の遊びと学びを地域でサポート」を掲げ、主に夏休み・春休み中の小学生が集まり一緒に勉強、様々な遊びを行うための居場所作り、企画・運営を行いながら、地域間・世代間を繋げている。活動場として、開成駅周辺の施設を有効利用している。



奨励賞 認定 NPO 法人 こまちぷらす

子育てが「まちの力」で豊かになる社会の実現に向けて行う様々な事業のうち、ウェルカムベビープロジェクト®では、地域からの出産祝いを贈る過程で地域住民や企業等が子育てに関心を寄せるきっかけを創出している。具体的には、箱詰めイベントや背守り会の開催、プレゼントの選考会などが挙げられる。



奨励賞 NPO法人おもしろ科学たんけん工房

藤沢市、横浜市などで子どもたちが科学の楽しさを体験する活動を行っている。おもしろ理科実験と理科工作の組み合わせ、遊びながら学ぶ環境の中でドキドキしたり不思議さを発見したり、自分から積極的に探究し、自分で考える習慣を身につける活動の場を提供している。



奨励賞 サークルてのひら島

1996年にPTA活動から生まれた、親子のための子育て・育自サークル。「つき合えば自然になれる」を合言葉に、季節の野山を歩き遊びながら、本物に触れ、身の回りの問いに向き合う、楽しい体験の場です。野草を食べる、ほたると遊ぶ…。触れた分だけ広がる世界は、「新しい窓を開く」時です。



草の根賞 北加瀬原町母親クラブ

0～6歳のお子様とその親御さんを対象に乳幼児健全育成のための活動を月2回行っている。ボランティアの現役ママが主体となり年間計画表に沿って毎月親子で楽しめる会（親子ふれあい遊び、水遊び、音楽会、応急手当講習、クリスマス会など）を開催している。



草の根賞 鶴見銀座商店街協同組合

中学生ボランティアが「安全に楽しませること」を目的として企画運営、様々なあそび場（ゲームやパン作りなど）ブースを展開し、小学生以下の子を遊ばせる「バルロードちびっ子王国」を毎年開催している。



草の根賞 いせはらボランティアスクール実行委員会

地域に根差した福祉教育を念頭に考えた事業で、青少年に社会貢献活動を通して、福祉ボランティアの精神を育てるため、理論だけでなく実際の体験を取り入れた事業を計画し、活動している。ボランティアの対象を中学生から小学生に広げ、年代の違う青少年と一緒に活動をすることで、自然に思いやりの心が育まれ協力し合う心を育てている。



特別賞 発達障害親の会 なのはな会

区の子育て支援拠点で相談員を会の運営メンバーで引き受けたり、ケアプラザの引きこもりカフェや生活支援センターとの情報交換などにより、発達障害に関して、幼児期から大人までの生きづらさに対応できるよう、様々な団体と連携をとっている。また、他の親の会や支援団体とも連携し、保護者が困ったら、必ず相談に行ける場所があるように社会資源や繋がりを活かした形で支援を行っている。

